



「南西の風やや強く」 吉野 万里子

親に言われるがまま難関中学校を目指し、勉強づけの日々を送ってきた伊吹。夏の夜、思いがけない1人の少女との出会いが、伊吹を変えていきます。



「ヴンダーカンマー」 榎崎 茜

県立自然史博物館に職業体験に行った5人の中学生のそれぞれの刺激に満ちた一日を描いています。



「ぼくがスカートをはく日」

今度、学校で演劇のオーディションが開催される。ぼくは女神の役をやりたい。ぼくは、ただ、本物の女の子になりたい。自分らしく生きる道を選択したトランスジェンダーの少年の姿を描きます。



「ぼくたちのP」にしがき ようこ

別荘といえば高原だ。さわやかな高原の空気につつまれて、ゲームをする毎日。ぼくは頭の中でイメージをふくらませて、うっとりしていた。ところが、森林限界をこえて、たどりついたところは、電気も通っていない山小屋だった。



「マレスケの虹」 森川 成美

日系二世の少年マレスケはよろず屋を営む祖父の元で貧しくも平和に暮らしていた。だが、1941年12月日本軍が真珠湾を攻撃して……。第二次世界大戦期のアメリカ・ハワイを舞台に少年が生きた戦争を描いています。



「むこう岸」 安田 夏菜

有名進学校の授業についていけず、公立中学校に転校した少年と、父を亡くし、生活保護を受けて暮らす少女。二人が直面する、「貧しさゆえに機会を奪われる」ことの不条理。中3の彼らはいかに貧困に立ち向かうのか。



「リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ」 こまつ あやこ

マレーシアからの帰国子女、沙弥は日本の中学に順応しようと四苦八苦。ある日、延滞本の督促で有名な「督促女王」から図書室に呼び出され、一緒に「ギンコウ」に行くことに。それは短歌の「吟行」のことだった。



「ナチスに挑戦した少年たち」 フィリップ・フーズ

第二次世界大戦、ナチス占領下のデンマークで、レジスタンス活動をした少年たち。武器を何一つ持たない少年たちが、ヒトラー率いるナチス軍に抵抗した本当にあった話です。



「わたしの町は戦場になった」 ミリアム・ラウィック

「子どもからすれば、チンパンカンパンのろくでもない戦争です。なんでそんなことになってしまうのか、わたしは理解できません」これは少女の眼をとおしたありのままの戦争のさろく、フランスでベストセラーになったノンフィクションです。



「ギブ・ミー・ア・チャンス」 大塚 敦子

2014年7月 GMaC と呼ばれるプログラムが千葉県八街少年院でスタートしました。非行を犯して少年院に送られてきた少年たちが、動物愛護センターなどに保護された「保護犬」を訓練する。その経験とおして、一度は、社会からドロップアウトした少年たちが少しずつ変わっていきます。



「性の多様性ってなんだろう？」

LGBT だけじゃない。「普通」の性のあり方も通して、どう社会の中で生きていくかを考えよう。

小説以外